

オホーツクの森林づくり

令和8年6月14日(日曜日)、北見市と網走市にまたがる「オホーツクの森自然再生モデル林」において、当センターが主催するイベント「オホーツクの森林づくり」に参加者8名、センター職員2名の計10名で2グループに分かれて行いました。

はじめに、森の家広場内にある補植用のミズナラ苗木をスコップで掘り取り土嚢袋に梱包しました。その後、補植箇所へ移動し、スコップで笹の根を切り少しずつ植穴を作り上げしっかり根付くよう植え付けました。

次に、昨年刈り出しと掻き起こしを行って設定したプロットへ移動し、伸びたササなどを除去した後、プロット内で天然更新した木の芽に棒で目印を立てて、来年以降も引き続き経過を観察していくこととしました。

午後からは、オホーツクの森の「古の森遊歩道」を森林散策しました。

